



本会議で代表質問



6月19日の神奈川県議会本会議で、公明党を代表して質問に立ち、12項目にわたり質問を行いました。

※代表質問は、二次元コードからご覧ください。

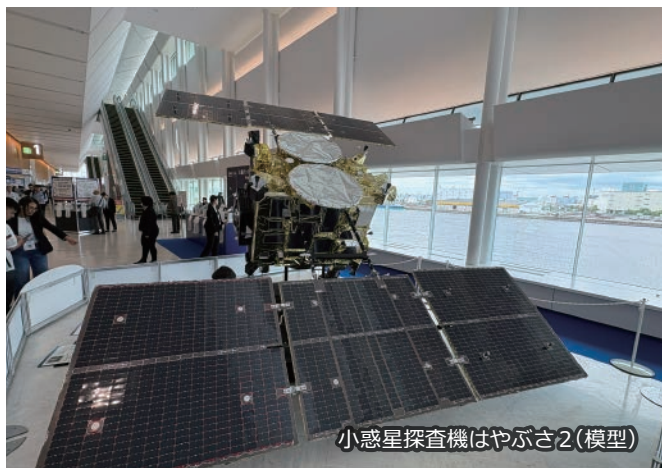


人工衛星分野の振興を！

そのうちの1つが宇宙関連、特に人工衛星分野の振興です。

県内には、JAXAをはじめ、人工衛星に関わる事業所が集積。大和市内でも、宇宙関連ベンチャーの株式会社Synspective(シンスペクティブ)が令和6年から小型SAR衛星の量産を開始し、今年6月には、10機目の衛星の軌道投入に成功しています。

そこで黒岩祐治知事に、人工衛星分野に焦点を当てて振興を図るよう求めました。



小惑星探査機はやぶさ2(模型)

知事は、観測センサーなどの装置関連企業などのネットワークを強化すると強調。さらに、県の有識者会議において、「本年8月以降を目途に、県が目指すべき方向性を提言頂きたい」と答弁しました。

県営団地での共益費徴収業務、草刈りなどに拡大へ



県営団地では、共用廊下などの共用部の電気代や維持運営に要する費用は入居者が共益費として負担しており、集金や草刈りや清掃などの日常的な維持管理も行っていますが、高齢化に伴い、困難になってきています。

こうしたことから、令和2年から県議会で質問を重ねた結果、令和5年に県営住宅条例が改正。令和7年7月から、電気や水道などの光熱水費について、手数料を負担していただいた上で、県が徴収や支払いを代行する制度が開始されました。

しかし、手間がかかる草刈りなどは対象になっておらず、県に代行してほしいという声があります。そこで、知事に、県が代行している共益費の徴収業務の範囲を広げるよう求めました。

知事は、「県は、入居者の作業負担を更に軽減できるよう、令和9年度からの次期指定管理では、制度を見直し、県が共益費を徴収して業務を代行できる範囲を草刈りや清掃などにも拡大します」と明言しました。